

平成26年度文部科学省指定 スーパーグローバルハイスクール（5年間指定）

2015 SGH通信

【1年生配布用】

No.30 岐阜県立大垣北高等学校 SGH 推進部

今回は【環境・エネルギー】分野の「気候変動と環境の問題」をテーマに勉強します。

◆ 農林水産分野の国際協力について考えてみましょう。



ICPP って何ですか？

調査団 気候

国連気候変動に関する政府間パネル（Intergovernmental Panel on Climate Change）の略。1988年に国連環境計画（UNEP）と世界気象機関（WMO）により設立された組織。

・何が目的？

人為起源による気候変化、影響、適応及び緩和方策に関し、科学的、技術的、社会経済学的な見地から包括的な評価を行うことが目的

・誰が関わっているの？

各国の政府から推薦された科学者

・評価報告書（assessment report）とは？

各国政府を通じて推薦された科学者が参加し、5～6年ごとにその間の気候変動に関する科学研究から得られた最新の知見を評価し、評価報告書（assessment report）にまとめて公表します。第5次報告の第1作業部会の場合、日本からは10人の執筆陣が参加しました。特定のテーマに関する特別報告書（special report）や気候変動に関する方法論に関する指針なども作成、公表します。

国際的な対策に科学的根拠を与える重みのある文書となるため、報告書は国際交渉に強い影響力を持ちます。

気象変動について知ろうと思ったとき、役立つ資料になるね。

IPCCの報告書についてもう少し詳しく知りたい⇒JCCCA 全国地球温暖化防止活動センターの「IPCC 第5次評価報告書 特設ページ」<http://jccca.org/ipcc/>



世界中の研究者が集まって、ずっと気候変動と環境について研究している。
高校生の僕たちにできることはあるの？

地球規模の問題の解明は難しいけど、
身近な取り組みから研究できないかな？



まずは、気候変動や環境について、日本（農林水産省）が取り組んでいる課題を知りましょう。

裏面は、「農林水産分野の国際協力の推進について」農林水産省（2014年4月22日）を参考にしました。

ローカルから取り組むグローバルを視点に、
岐阜県の河川・森林に対する知識と経験を活かした研究は、
どうでしょうか？



① 農林水産業への支援を通じた貧困削減

生産性向上のための基盤整備、研究・技術開発、普及

- 農民主体での稲作生産基盤の整備、生産・加工・貯蔵の能力強化→持続的な食糧安全保障を支援
- 水資源の効率的持続的利用のため、節水型栽培に適した品種の開発

人材育成

- 収穫後の加工技術、有機農業技術、農業ビジネスなどの研修の実施

農民組織活動強化

- 日本の農民組織のノウハウ移転、住民参加型農村開発の取り組み

統計整備

- 食料安全保障の強化に資する統計情報整備

例えば、
河川

- 西濃地域の治水の歴史と技術を生かすことはできませんか？ 輪中・千本松原
- 河川の環境保全について学んだことを生かせませんか？

メコン川は東南アジアの農業・経済・交通の要です。防災と環境について、今後のリスクが指摘されています。調べてみましょう。

② 気候変動等地球的規模の課題への対応

気候変動対策

- 植林、森林減少・劣化防止、違法伐採対策などの持続可能な森林経営の実現に向けた取り組み
- 灌漑施設の適応策の検討
- 農村防災体制の強化

越境性感染症対策

- アジア地域の鳥インフルエンザなどの蔓延防止に向けた調査、ウィルスバンクの設置、獣医行政組織の能力向上に対する取り組みを支援

例えば、
森林

• 岐阜県は森林率81%で全国2位です。森林を二酸化炭素排出削減の環境林としてみるだけでなく、地域の産業を興す経済林と捉える試みがあります。

フィールドワークで出かけた高山市の林業の取り組みを応用できないでしょうか？
少し調べてみましょう。